

西東京市駐車場事業経営戦略（案） <概要版>

経営戦略の策定目的

人口減少や施設老朽化等、地方公営企業の経営環境が厳しさを増す中、安定的な経営を行うために事業意義、必要性の検証、採算性の確認、民営化や民間譲渡の検討など経営管理が必要
⇒計画的な経営を推進するため、持続可能な経営戦略を策定し、計画的に経営管理する。

経営戦略改定の背景

財政状況については、現行計画と実績に大きな乖離は生じてはいないものの、令和8年度に実施予定の機械駐車施設改修の方が具体化してきたことから、経営戦略を策定した令和3年度以降に生じた変化を踏まえ、西東京市駐車場事業経営戦略を改定する。

計画期間

令和7年度から令和16年度(10年間)

1. 事業概要（施設名：アスタ市営駐車場）

【概要】

【事業開始】平成7年3月(建設後29年経過)

【収容台数】295台

【営業時間】24時間(入庫可能時間:9時～22時・出庫可能時間9時～23時)

【料金形態】9時～23時：200円/30分

23時～(翌日)9時：1,000円/回

【現在の経営状況(令和5年度決算)等】

- ・本駐車場は、田無駅に隣接し、生活必需品を扱う商業施設の地下に立地
- ・商業施設において、アスタ市営駐車場の無料サービスを提供
⇒**駐車場使用料収入の約90%が、商業施設内店舗からの収入である。**
- ・歳入総額は約1.2億円で、歳入総額の99%以上は駐車場使用料収入
- ・歳出総額は約1.1億円で、実質収支(歳入総額-歳出総額)は約0.1億円
- ・収益的収支比率は、110.8%(黒字経営)

2. 経営の基本方針

田無駅周辺の利用者や近隣商業施設の駐車場需要を支えるとともに、周辺道路交通の円滑化を促進するため、今後も安定継続した運営を行えるように収支状況を注視し、利便性の向上に努める。

3. 将来の事業環境

【駐車場需要の見通し】

立地環境より、西東京市民及び近隣市の市民による需要は、今後も一定程度存在
⇒**利用台数は年間約28万台、駐車場使用料収入は約1.1億円で推移と想定**

【機械式駐車施設の改修による影響】

- ・既設の機械式駐車施設は、**令和8年度及び9年度に改修を実施**
- ・改修は、機械駐車施設入替による改修ではなく、**平置き仕様**に改修
- ・改修に伴い駐車場区域の一部閉鎖を行う必要があるため、令和8年度及び9年度の利用台数・駐車場使用料収入を各年度15%減少を見込む

4. 投資・財政計画

【投資に関すること(機械式駐車施設の改修)】

改修工事費を約1.8億円、改修に伴う駐車場使用料収入は2年間で約0.3億円減を見込む

⇒**改修費用と減収補填分の不足分について、駐車場基金を取崩すことで対応**

歳入・歳出状況(令和6年度以降は見込み)

(単位:千円)

年度	R5	R6	R7	R8	R9	R10
歳入	118,975	122,411	134,559 <small>(うち繰入金11,044)</small>	184,472 <small>(うち繰入金84,000)</small>	219,192 <small>(うち繰入金117,500)</small>	117,568
歳出	109,052	112,545	130,590 <small>(うち設計費11,044)</small>	179,039 <small>(うち工事費67,000)</small>	214,845 <small>(うち工事費100,500)</small>	112,271
基金残高	279,063	291,806	291,270	211,685	99,820	104,381

年度	R11	R12	R13	R14	R15	R16
歳入	118,528	118,540	118,552	118,564	118,576	118,588
歳出	113,231	113,243	113,255	113,267	113,279	113,291
基金残高	109,902	115,435	120,980	126,537	132,106	137,687

【財源に関すること(収益的収支比率105%以上の継続)】

将来にわたり、安定した経営を行えるように、運営管理業務に係る委託内容の精査を行い、収益的収支比率105%以上の継続を図る。また、一般会計からの繰入れに依存しない安定的な経営と毎年度駐車場基金へ積立てが行える財務体制の構築を目指す。

5. 適切な運営形態

適切な運営形態として、今後2つの方法を検討する。

- ・運営主体の移行
- ・民間活用

6. 経営戦略の事後検証、改定等に関する事項

今後の経営戦略の改定については、5年に一度とする。